

「平和への祈り感じて」

伊賀 日本画家・故平山氏展



① 砂漠にあるパルミラ遺跡の前を通るラクダの隊商を描いた作品などが並ぶ会場
② 日本画家の故平山郁夫氏。いずれも伊賀市西明寺の市文化会館で

シルクロードや仏教などを題材にした日本画家で文化勲章受章者の故平山郁夫氏の作品展「シルクロード・仏教伝来・平和への祈り」が六日、伊賀市西明寺の市文化会館で始

まった。九日まで。出版などを手掛ける「ほるぶエーアンドアイ」(大阪府)の主催。展示販売し、売り上げの一部を熊本地震被災者支援や東日本大震災子ども支援募金に充てる。平山氏は広島県出身で被爆体験がある。東京芸術大学長や日本美術院理事長、国連教育

科学文化機関(ユネスコ)の親善大使などを歴任した。同展でシリアにあるパルミラ遺跡の前を朝と夜に通るラクダの隊商を描いた作品、青森県の奥入瀬溪流を描いた作品、京都府の平等院鳳凰堂を描いた作品など四十点の版画を展示販売している。担当者は「平山さんの平和への祈りを感じ取ってもらいたい」と話す。

併せて日本画家の東山魁夷氏やダウン症の書家金沢翔子さんの作品も展示販売している。展示販売は午前九時半～午後六時。最終日は午後五時まで。チャリティー展示は二〇一五年から高知県を皮切りにしている。

(中川翔太)